社会科学

〔研究テーマ〕

1 協働の農地管理に関する研究

2 地域資源（水資源）を活用した地域づくりに関する研究

3 集落の再生と維持に関する研究

松岡　崇暢

まつおか　たかのぶ
地域資源創成学部

准教授

キーワード

・地域資源管理
・耕作放棄地の解消
・小水力発電の活用
・集落再生や維持
・関係人口創出
・農村振興
・市民活動
・地域運営組織

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

日本の農山村をフィールドとし、適切な地域資源の維持管理による地域環境保全や農山村振興について社会学をベースとした研究をしております。地域資源の維持管理や農山村振興というのは、地域住民の主体的な取り組みに加えて高齢化と人口減少による労力低下を補う関係人口の創出という新しい考え方を組み入れることで、多様な活動に発展させていくことに重きを置いております。

農山村の持続可能な発展をサポートするための研究・教育・社会貢献に力を入れていきます。

1 協働の農地管理に関する研究

日本の農山村は、農地を適切に維持管理し利用してきました。その恩恵は、農作物の生産だけでなく、多面的機能として評価され都市部の環境保全に大きく貢献してきました。農山村の高齢化と人口減少により、今まで農地の担い手として活躍してきた農家だけの労力負担だけでは維持管理は難しくなってきました。そこで、農家以外の主体として都市住民やNPO関係者などと協働で農地を維持管理に至る要因と取り組みの継続性を研究しております。この研究は、耕作放棄地の発生抑制や解消など農山村が抱える地域課題解決にも応用が可能です。

2 地域資源（水資源）を活用した地域づくりに関する研究

数ある地域資源の中でも水資源は、集落や地域農業との関わりが深く農家や地域住民の手で適切な維持管理を実施することで地域資源として活用することができます。水資源を活用した小水力発電で得られた電力の使途は、地域づくりの意思を示唆していると考えられます。この研究では地産地消のエネルギーを活用し、地域農業の発展を妨げる地域課題解決や集落の再生や維持に不可欠な地域づくりの機運を高める要因を明らかにする研究に応用が可能です。

3 集落の再生と維持に関する研究

様々な時代背景により、日本の人口問題は様変わりしてきました。最近では、環境問題、資源管理の観点から、中山間地域に存在する集落の価値や意義を問い直す転換点に来ています。新しい時代を切り拓いていく上で、従来の都市農村交流を見直す必要があります。都市住民は生き甲斐創出としてのサードプレイスや多様な価値観を発信し、農山村住民は拡大解釈された関係人口の受け入れと有効な活用を模索し、双方のニーズとシーズを結びつけるコーディネータの取り組みなど、各々の取り組みの影響や連携の成果を明らかにする研究です。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

・行政の各種計画策定
・地域づくりに関するワークショップの企画運営（地域住民巻き込み型）
・地域運営組織に関する研修会の企画運営

メッセージ

・市民主体の地域づくりに関心がある集落、NPOなどと一緒に農山村や地方都市を一緒に元気にしていきたいです。是非お声掛け下さい。
・関係人口を活用した耕作放棄地の解消に関心があれば是非お声掛け下さい。